

南仏治安情報（2012年4月）

■プロヴァンス地方

1.都市監視センターの開設

4月初旬、マルセイユ市内 **Belle de mai** 地区に、治安対策強化のため都市監視センターが開設されました。現在、マルセイユ市中心部には**53台**の監視カメラが設置されており、監視センターに送られた映像を、センター開設のため採用された警察官**38名**が**24時間体制**で監視しています。監視カメラは遠隔操作により画像の拡大も可能であり、センター開設以来わずか**10日間**で、路上での武器の売買など**2件**の現行犯逮捕に貢献しており、検挙率増加が期待されています。治安当局は今後、監視カメラの設置範囲をマルセイユ市全域に広げ、今年夏までに**180台**、**2013年**の年頭までに**360台**、最終的に**2014年**までに**1500台**増設する計画です。

2.イスラム過激派関係者の一斉検挙

3月に発生したトゥールーズでの連続銃殺事件を受けて、フランス国内各地でイスラム過激派関係者に対する一斉検挙が行われました。**3月30日**にはマルセイユ市、トゥールーズ市、ニース市を含む**6都市**で、イスラム原理主義 **Forsane Alizza**のメンバーと見られる合計**17人**が、**4月4日**にはマルセイユ市、カルパントラ市、ポー市を含む**5都市**で合計**10人**が検挙されました。それぞれ数日間勾留され取り調べを受け、その後釈放されました。

3.銃を使用した殺人事件等の発生

マルセイユ市では4月中、**1週間**の内に素行不良者グループ間の抗争により**3件**の銃殺事件が発生し、**3人**が死亡しました。いずれも薬物売買の縄張り争いが原因と考えられています。マルセイユ市内では、同様の理由により今年度初頭から既に**7人**が殺害されています。また、その他、酔っ払いの喧嘩や隣人同士の言い争いの末の発砲、閉店しているバーを狙ったもの等マルセイユ市で**9件**、エクス市でも入店を拒まれた客がディスコの警備員に向かって発砲する等銃を使用した事件が発生しました。

4.政党間の対立による暴力事件等の発生

フランス大統領選挙を控えた**4月**、マルセイユ市内では複数の地区で異なる政党の党员同士の対立による喧嘩、暴力事件が報告されました。**4日**、北部の**15区**では、ポスター掲示板を巡り乱闘事件が発生しました。また、パニエ地区では党员が脅迫や暴力を受ける事件が発生しました。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1.ニース市中心部における公共の場での夜間飲酒禁止条例の施行

夜間の喧嘩、迷惑行為等の**90%**が過度の飲酒が原因で発生している現状を踏まえ、ニース市では**4月1日**からレストラン、バー等を除く中心街の公共の場（公道、広場、浜辺等）における夜間（**20時**から翌朝**5時**の間）の飲酒が禁止になりました。違反した場合には**17~38ユーロ**の罰金が科せられます。

2.今後の緊急災害情報について

ニース市は **Météo France** より気象災害時の情報を優先的に得るための契約を結びました。これにより、ニース市のホームページ上で**5分毎**に更新される災害情報の閲覧が可能になります。また **Var** と **Pailion** における水害の規模が確認できる様になる見込みです。ニース市では洪水、森林火災、地震、地滑り、気象災害の**5つ**の災害が想定されており、これらの防災対策や被害軽減のため、スマートフォンに対応したアプリケーション、電光掲示板や携帯電話等に自動的にメッセージを送るシステム等の開発を進めています。

3. Alpes-Maritimes 県の犯罪統計

内務省によると、今年1月～3月のAlpes-Maritimes県における犯罪発生件数は、前年の同時期と比べ、**10.57%減少**しました。とりわけ強盗や恐喝等、対人の犯罪は前年に比べ**12.56%減少**しています。また、窃盗では**0.22%減少**、詐欺行為では**0.44%増加**しました。

4. コルシカ島南西部における連続爆破事件

4月10日から11日の深夜にかけて、コルシカ島南西部アジャクシオのバーでプラスチック爆弾によるものと見られる爆破事件が発生しました。幸いにも負傷者は出なかったものの、同市では4月8日深夜にもゴミ箱に仕掛けられた爆発物が爆発し、帰宅途中のレストラン経営者が巻き込まれ、死亡する事件が発生しています。地元警察は、いずれの事件もグループ間の抗争による可能性が高いとみて捜査をしています。

■ ミディ・ピレネー地方

1. 車両使用時における犯罪被害の態様

トゥールーズ市近郊では車両盗難の手口が巧妙化しており、次の様な例が確認されています。発車間際の車のフロントガラスを急に紙等で覆い、運転手がそれを取り除くため降車した際に車を奪ったり、犯人が事故や病人を装い注意を引き付けている隙を狙って車両を奪う車両盗難事件が発生しています。いずれの場合も運転手がエンジンキーを付けたまま降車した際に発生しています。その他、車両使用時の犯罪被害としては、走行中の自動車の窓ガラスを壊され鞆等を盗まれる盗難事件や高齢者等を狙い、故意に交通事故を発生させ、示談を持ちかけ修理代を請求する詐欺事件も確認されています。

2. Languedoc-Roussillon 地方での空き巣被害が増加

2010年～2011年空き巣発生件数の統計によると、各地で2011年に発生した一般住宅での空き巣の件数は、Lozère 県 81件（前年比84%増）、Aveyron 県 383件（49%増）、Gard 県 4731件（14.4%増）、Hérault 県 5744件（8%増）、Pyrénées-Orientales 県 1683件（12.6%減）等で、これまで被害が比較的少なかった県も含め大部分の県で大幅に増加しています。

3. 日本人報道陣に対する投石事件の発生

トゥールーズ市の Izards 地区で4月12日正午頃、日本人4人が乗車したタクシーのフロントガラスにブロック状の石が投げつけられる事件が発生しました。助手席側の窓ガラスが割れる等したもの、幸い怪我人は出ませんでした。4人は3月にトゥールーズ等で発生した連続銃殺事件に関する番組撮影のため日本から渡仏しており、メラ容疑者が子供時代を過ごした Izards 地区を車内から撮影していたところでした。

4. 未成年の飲酒・喫煙の傾向

11～15歳の生徒11500名を対象とした調査の結果、喫煙者数は過去20年間で減少傾向にありますが、約半数が13歳で最初の喫煙を経験しており、15歳では20%が週に1度以上の喫煙、その内18%が1日20本以上を喫煙している事が明らかになりました。また、青少年の飲酒依存率は減っているものの、1回の摂取量は増えており、15歳で飲酒経験がある生徒は、2006年に30%であったのに対し2011年は41%と増加しています。